



平成28年

10月19日(水)

例会場：福島サンパレス

RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

# 福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

第15回  
例会

会員 / 75名 出席 / 48名 出席率 / 64.00%

メイクアップ / 27名 修正 / 75名 修正率 / 100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

## 会長挨拶

会長 佐久間 功

本日は、午後4時20分から、新会員セミナーを林パスト会長講師のもと、入会3年未満の会員を対象に、「ロータリアンの行動規範」をテーマに、ロータリーの基本理念や目的等について講義がありました。引き続き、野地パスト会長の講義で全会員セミナーを行い、野地パスト会長の入会から今日に至るまでの様々な経験談を述べられ、出席した会員は耳を傾けていました。

今夜は夜間例会「新会員歓迎会」です。6名の新会員を歓迎し、親睦委員会では、楽しい企画を計画されているようですのでお楽しみにして下さい。又、今回初めて受付にて、ポリオプラス募金を呼びかけましたところ、皆様からの温かいご厚情に感謝申し上げます。

今週は土曜日の猪苗代湖漂着水草除去回収作業の奉仕活動、日曜日の大声杯、月曜日の東京麹町ロータリークラブ姉妹クラブ締結5周年記念事業と、行事が続きます。会員の皆様におかれましては何かとご多忙な週末になりますが、ご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

## 10月26日(水)のプログラム

- 12:30 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング「福島南RCの歌」
- ③4つのテストの唱和
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤スマイリングBOXの報告
- ⑥猪苗代湖・漂着水草除去回収作業参加報告
- ⑦大声杯参加報告
- ⑧姉妹クラブ結成5周年記念行事参加報告
- ⑨お食事をどうぞ
- 幹事報告
- ⑩会員スピーチ 渡辺 勇 会員
- ⑪地区大会各種表彰状授与
- ⑫各委員会報告
- 13:30 ⑬閉会点鐘

## 今後のプログラム

- 11月2日(水) ロータリーの友よみどころ  
誕生祝い  
会員スピーチ(菅野和宏会員)  
エコキャップ回収報告  
例会終了後第6回理事会
- 11月9日(水) 移動例会 職場訪問(風の谷)  
地区職業奉仕委員会セミナー報告  
防火パレード参加報告

## 地区情報・第一分区・関連情報

- 11月3日(木) 地区職業奉仕委員会セミナー
- 11月26日(土) 地区財団委員会セミナー



## ポリオプラス募金活動報告

国際奉仕委員会

吉田 和義 委員長

ポリオ・プラス募金活動の推進は当クラブとして初めて国際奉仕委員会の年次計画に取り入れた目標でした。

2016-2017年度前半と後半の2回実施し募金目標は合計で3000ドルと決めました。前半で1500ドル(20ドル×75名)、後半で1500ドル(20ドル×75名)とし理事会の承認を経て例会時にポリオ・プラスに特化した募金活動を行う事となった。

10月24日の「世界ポリオデー」の前週、第15回例会(2016年10月19日)新入会員歓迎会で募金活動を行う事とし、国際奉仕委員会が担当して会員に協力をお願いした。

その結果、50名の会員から2510ドルのご寄付を頂きました。目標を1000ドル上回り当クラブ会員のポリオへの意識の高さを再確認した次第です。

RI第2530地区佐久間英一ガバナー公式訪問の際に訴えられたポリオ撲滅の重要性、一人あたり30ドルのポリオ・プラス基金への募金協力について当クラブは少しではありますが前進したと思います。(地区目標30ドル×75名=2250ドル)

今回の募金は10月中にロータリー財団ポリオ・プラス基金へ送金します。2016-2017年度後半の例会においてもポリオに特化した募金活動を予定しております、会員の理解を得よう今後も啓蒙活動に力を入れて行く所存です。なお当クラブのスマイリングボックス予算より国際奉仕活動の一環としてポリオ・プラス基金へ5000ドル送金する事になっておりますので合わせて報告とさせていただきます。



## 新会員オリエンテーション

パスト会長

林 克重 会員 「ロータリーの最初の一步」

100年以上にわたり、私たちはロータリーの価値観と伝統をあらゆる基本理念にしたがって行動してきました。「四つのテスト」「ロータリーの目的」「5大奉仕部門」は、奉仕(Service)親睦(Fellowship)多様性(Diversity)高潔性(Integrity)リーダーシップ(Leadership)

という私たちの中核的価値観をあらわしています。ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には、次の各項を奨励することにあります。第1：知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。第2：職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。第3：ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。第4：奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

価値観を行動に 私たちは、親睦を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。私たちは高潔性をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。私たちは、奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。



## 全会員セミナー

パスト会長

野地 利雄 会員 「ロータリー今昔について」

今回、会員セミナーということで菅原直前会長より依頼され、題材を検討しておりましたが、30分という長い時間を頂き、スピーチ内容も中々まとまらず、長考の末「ロータリーの今と昔と私」という題を選びました。ロータリーの歴史については、何回となく本を見て、いろいろな方々が当クラブでスピーチされておりますし、多くの教本が発行されております。そこで経験は浅い私ですが、入会した20年前と今のロータリーでは規定審議会等で色々と規定内容が変わってきており、また、それに伴いクラブの現状も変化しておりますので、その所から私感になりますが、スピーチした方が良くと考え、大変恐縮ですがお話しさせていただきます。当クラブ46年の歴史において、浅い経験なので聴く側、聴き方により間違っただけかもしれませんが、今、南RCの野地として、諸先輩方に大変お世話になり、地区の研修委員まで経験した事をお話ししようと思っておりました。題して「ロータリーの今と昔と私」

私は、平成10年9月入会し、19年間に在籍させて頂いております。いつの間にか在籍年数が15、16番目になり、複雑な気持ちにもなります。入会は富田会長、佐藤芳正幹事の下、強力な勧誘により、嫌々ながら仕方なく安齋会長の推薦で、現任達RC会長の西川氏とセットで入会致しました。入会の挨拶文についてもチェックを受けましたが、入会式の時、会場では全員正装の中、大変な拍手で迎えられ、私の足が震えたのを覚えております。

その時のRIテーマが「ロータリーの夢を追い続けよう」と言う、今の時代にこそ必要なテーマでした。会員の中で約3分の1の方々は南地区においてお付き合いしており、知り合いも多かったのですが、ロータリーの例会では先輩方の目つきも大変厳しいものを感じました。

入会次年度にまず、会報委員会を指名されました。新会員の登竜門です。何も知らなかったもので、大変困りました。まず、会報の区割り、写真の枚数と配置等を考えそして、テープレコーダーから文章を起し、清書するのですが、もちろん字余りは厳禁です。文字数の調整がかなり大変でした。出来上がった原稿は、一盃森の印刷屋さんで金曜日まで届けなくてはなりません。次週の例会に配布するため、期日厳守です。字は「お・を・い・え」等使い方を間違っただけにはいかず、先輩より例会時、指導を受けます。クラブのレベルが判ってしまうとの事でした。私も一度きつ「お・を」の間違いで注意を受けました。印刷所で訂正してくれても良かったのではないかと思います。同じロータリークラブの会員なのに…と思っておりました。奉仕の理念に同意し、同じ会費を払い、入会しているのですから心情的にもどうかと思っておりました。今思えば、私には敷居が高かったと思います。確かにその当時、ロータリーバッチには「ステータス」があったと思います。今はロータリーブランドと言われますが、入会希望者が立派な会社の代表者であっても地域に「可否」がある方は入会出来なかったのです。今のような入会勧誘、会員増強とは意味合いが違っておりました。また新会員という事で三年間は仕事を二の次にし、何かとロータリーの活動を主に考え、尽くしてきたつもりです。

ロータリーに入ったからすぐ会社に仕事が多く来るとは限りません。それはお互いの職業上の取引でお互いの会社を理解した商いが成立してからのことでしたが、私の場合は同じ仲間に入れてもらい、仕事は増えていきました。そこで私は会員方、またその関係者の方に依頼されれば、夜間の停電作業でも誠意を持って取り組んできました。「職業を通じて自分で奉仕をしよう」「地域の皆さんの困り事に断るな」「地区には奉仕せよ」とも社員に言っております。また一人暮らしの年配者からは無料もしくは安価で奉仕を心掛けております。その結果、色んな手土産を社員が頂いてきます。電気が通電しなければ何も出来ないという時代にも関わらず、目に見えない電気を直すというのは一般の方にとっては恐怖のようです。ほんの些細な仕事でも電気が使えるという事に喜んでくれ、手土産を持たせてくれる心遣いがまた、励みになります。自分の仕事を通じてロータリーの職業奉仕の言葉が良く理解できてきました。

そして、入会から3年半後にクラブ幹事を引き受ける事になりました。70名以上の先輩会員がいる中で3年半しかロータリー歴、経験のない私が幹事、当然理事・委員長の経験も無かった者ですから、まあ良くも理事会で承認したものと今でも思っております。会長は安齋さんでした。後日談ですが、本命の方が体調の都合でお断りされ、私に回ってきたそうです。それにしても異例の幹事でした。風評被害も安齋会長と私にあったのが幸しい、「よし、やってやるうじゃないか」と思いました。これが私が、ロータリーに足を染める一歩でした。まず前例の悪いものは排除し、会員の顔を見てクラブを引っ張る方向で活動しました。当然、安齋会長とはほぼ毎日、相談・指導を受けました。鈴木チャーターには「のっちゃん、いいから気を使うな。金を使え。」

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹6-2 ザ・36・メイファイブ1F2号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878

HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375

と再三の指導を受け過ぎ、安齋会長も会員の皆さんと親睦、懇親の場を数多く設け、意思疎通に心掛け、不満を漏らす方々は多少はいたとしても、皆が応援団になってくれたと今でも思っております。お金は使いました。結果、新会員は10人以上純増、夜間例会、家族忘年会、社会奉仕委員会の活動、米山・ロータリー財団の大増額、他クラブ同志の交流会、そして分区のソフトボールチーム結成そして試合、ガバナー公式訪問の大歓迎会と数々の活動計画を実施しました。お蔭様で安齋会長と共にクラブ初めての個人のガバナー賞を受賞しました。これもクラブ内の先輩そして友人達が喜んで安齋丸に乗って応援してくれた事でした。感謝感激しきりでした。

その後、副会長、エレクト等経験させて頂き、2005～2006年度の会長を拝命させて頂きました。幹事は黒羽さん、副会長は廣澤さん、エレクトは斎藤ミヨさんをお願いし、その時のR1会長テーマは「超我の奉仕」でありました。創立35周年と重なり、周年委員長は浅倉さんをお願いしました。理事任命には、個人的に反対意見の多いパスト会長と応援してくれるパスト会長をバランス良く考え、理事就任して頂きましたが、提案事項の40％は却下されたと思います。ですが、黒羽幹事が陰ひなたなく動いて下さり黒子となり、廣澤さんと調整を図り、うまく理事会も機能し、これまた、自画自賛ではありますが、数々の記録に残る活動をさせて頂きました。その中で今でも米山奨学生から新年のメールを頂きます。菅原さんと廣澤さんの指導が大変良く、中国人の方ですが、日本人は皆悪い人としか知らず、ロータリー奨学生として日本人と交流していくうちに、日本の良さ、日本人の心を良く理解し、訪中した際には、1日中観光の案内までしてくれ、「あのじゃじゃ馬娘がね～」と思い、嬉しくまた懐かしく思った次第であります。中国で同行している時は、私の前を一步も歩かず、常に一步後ろを付いてきておりました。

それから様々なクラブの役職、また地区の委員等を務めさせて頂き、2010～2011年度、クラブより大橋ガバナー輩出となりました。これ以前を語り合うと3時間の物語になってしまいますので省略致しますが、ただ一つ申し上げますと、99％決定していたガバナーエレクト候補者が直前辞退という前代未聞の南RCの動乱と申しますか、小型明治維新らしい話でした。しかしながら、今現在に至る福島南RCの奉仕活動の基として、ここで負けてはクラブは消滅同然という「危機感」の中で、大橋さんが火中の栗を拾って下さり、道を正し、その結果今の、地区内1，2を争う優秀なクラブになったのではないかと思います。大橋ガバナーの下、クラブ会員の方々と手分けして2530地区クラブ訪問をし、活動計画、クラブの実態を見て大変勉強になったと思います。また2530地区のトップの下で活動し、地区運営、組織、計画と知ることになり、落胆した部分もありながらも、ロータリーの勉強には最高の時期となりました。年度終盤に掛かった頃、3月11日東日本大震災が起き、状況は一変します。当地区、宍戸幹事は自分の職業奉仕も忘れ、毎日ガバナー事務所で詰めておりました。一言では表せない大変な思いもしました。しかし得た物もありました。

この災害支援活動の名の下、ロータリーバッチ一つで見ず知らずの人々と知り合い、また友情を深く理解し合えました。今でも感慨深く思うのが、第一に東京麹町RCとの事です。黒羽会長、廣澤副幹事等と検討を重ねた結果、東京麹町RCと友好クラブになりましたが、どのような経緯で友好クラブになったのかという事です。

まず我々の復興に大変心強い応援の気持ちを頂きました。また南RCにとっては、東京のど真ん中の大富豪クラブである事は、私たちに知り得ない情報をたくさん持っている事、これによりスキルアップもできること、またロータリークラブとして大変な業績を上げ、見習う事が多いという事でした。麹町RCとしては、東京に大震災が起きた時のため、東北地方のクラブと友好クラブを作っておきたいという意向があった様です。ロータリアン同志語り合いました。しかしここ5年を見ますと、当クラブと良い関係にあり、気安く話し合い、クラブ同志で進歩・発展を遂げるように見受けられ、大変嬉しく思います。そこでこの深い井戸を探って下さった大橋PGには、我々一同感謝しなければなりません。この井戸の水を飲む時、一つ思い起こすことも大切でしょう。

大橋ガバナー年度の際は、宍戸幹事におきましては、多方面にご尽力頂き、ありがとうございました。「何事もロータリーは奉仕ですから」の一言で終わりになってしまいますが、震災のあった年度でもあり、通常業務以上の奉仕をされたと思います。根本年度は、「新世代委員をお願いしたい」とか言われましたが…地区委員を休ませて頂きました。次年度は、以前から財団委員長を歴任し、南RCにも何度かスピーチに訪れたことのある、今は亡き伊藤浩さんがガバナーになられました。「野地さん、職業奉仕委員会が一番大切な委員会なのに、今一番だめなんだ。何とか地区の委員をしてくれ。」と言われました。俺にはできないなと思いましたが、職業奉仕委員会は、伊藤さん肝煎りの委員会で、「金は使っていいから、今までにないような事をやってくれ」と言われ、引き受けざるを得なくなり、副委員長に会津西RCの森惣兵衛さんとのコンビで一年間務めました。これもまた思い出に残る一年でありました。職業奉仕委員会の大切さ、さらにこの委員会を中心に五大奉仕委員会が回っていることを知り、日本とアメリカや他国との考え方が、この委員会を通じ、かなり違う事がわかりました。要するに仏教とキリスト文化、また結果重視のアメリカと結果以外に過程も重視する日本の違い、ロータリーの職業奉仕、歴史、勉強すればするほど必ず悩む所です。職業奉仕委員会の方々は、ここまで考えて下さい。私の場合は、ここを日本の規定に置き換えて、ガバナーにお伺いを立てて地区の奉仕に邁進致しました。クラブ訪問も3～4回、その他セミナー、発表、集計報告と忙しい一年でした。最後に我々委員会メンバーの為に伊藤ガバナーが郡山にて「ご苦労様でした」という慰労会を設けて下さり、感激しました。他の委員会よりクレームが出たそうです。この年度、大橋PGに紹介して頂いた「笹原留似子さん」の講演を企画し、実施致しました。大変素晴らしい講演で、参加した方々が笹原さんの職業奉仕活動に感動致した事が記憶にあり、伊藤ガバナーが大切にしていた、たった一つしかないバッチを彼女にプレゼントされ、私も大変嬉しかったのを思い出します。感動しました。伊藤さんはその2年後ご逝去され、ロータリーにとっても私にとっても残念で仕方ありません。

その次年度には、第一分区ガバナー補佐に任命され、次年ガバナーの渡辺さんに職業奉仕委員長には「森惣兵衛」さんを…とお願い、辞退致しました。ガバナー補佐幹事はまたまた、黒羽さんをお願い致しました。私も浅倉ガバナー補佐の時、分区幹事をさせて頂いており、多少は知識がありましたが、元事務局員の園部さんが記録ファイルを残してくれたお蔭で大変助かりました。結果としましては、会員増強は第一分区15名、財団、米山の目標は全クラブクリア。その他社会奉仕活動も各クラブ地区資金等を使用しながらも、大成功に収めて頂きました。また、中央RCの「何でも相談会」を分区行事とし、各分野のスペシャリスト達にご協力頂きました。また、助成金をプラスさせて頂いたクラブ活動もありました。R1会長テーマが「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」ということでした。南RC会長は大野順道さんが頑張っておりました。大野会長には分区の会長、幹事会でもご意見を頂き、ありがとうございました。

黒羽さんには大変お世話になりましたが、私自身一番気を使った事は体調管理でした。年間スケジュールで予定が立っており、穴を空ける事は出来ないものです。この年度も各クラブ訪問、スピーチ内容の検討と勉強、会社にいる時間が無いほど大変でした。でも終わってみると、知り合いも増え、色々な事を教えて頂き感謝する事が多かったように思います。ロータリーの受益です。素晴らしい地区委員の方々の中で、福島南RC会員として毅然とした会員を心掛けて活動してきたつもりです。

2015～2016年度は、菅原会長の下、副会長・45周年記念実行委員長を任命されました。記憶に新しいと思いますが、周年記念には、クラブ一丸となり開催され、220名近く出席し、祝賀会、式典が行われました。各方面より来て下さった方々

に祝福され、またお褒めの言葉を頂き、重ねて御礼申し上げます。また皆さんにはご協力頂き、ありがとうございました。また時期的に少し早いのですが、次年度地区において「公共イメージ委員会」が発足されます。どこになるのか分かりませんが、お祭り・イベント・ロータリー活動の中でロータリー意識の高揚の為に積極的にPRしていきます。既にガバナーエレクトと計画しているものもあり、クラブの皆さんにはいろいろとお世話になるかもしれません。ライオンズクラブに対抗はできませんが、地区の皆さんにロータリー活動を知って頂き、理解を深めていければと思います。この活動を通して「ロータリーブランド」と言われる事を説明していきたいと思います。

最後になります。約20年、今までのいろいろなロータリー活動を奉仕の下にやって参りましたが、今、当クラブも変わりつつあるのかなと思います。しかし、「何でもあり」の肝要の精神のロータリークラブではありません。46年間の歴史あるクラブであり、先輩諸兄の育ててきた思いの詰まったこの南RCは、大橋ガバナーを輩出し、私も皆さんも他クラブのリーダーとなる為に会員一丸となり、邁進しなければなりません。諸先輩の熱き思いが伝わらない人はこの南RCに必要なと私は、思います。先輩方は常に見ております。

ここまで、私の思いのままにお話しさせて頂きました。思い違い・記憶違いもあるだろうとは思いますが、あくまでも私感である旨をご了承下さい。長時間のご清聴ありがとうございました。

最後に、ロータリークラブの創設者、ポール・P・ハリス氏の略伝もお読みください。

## 会員スピーチ 齋藤　ミヨ　会員

私は1992年4月2日入会ですので、24年目となります。当時は福島県北分区では女性ロータリアンは10名でした。

ロータリークラブに女性が入会を認められた経緯ではありますが、1987年5月4日ですのでロータリーとしては歴史上画期的な日であったと考えます。

その当時の記事がありましたので記して見ます。当時アメリカは女性の進出がめざましく、経済的にも女性の発言力が強まり、男女同権が雇用関係にも徹底した社会情勢にあった時、1977年にカリフォルニアのデュアーテロータリークラブが女性会員を入会させてしまったのです。

最初はニックネームで入会を認めたので、女性とはわからなかったのですが、「ロータリーが女性に門戸開放」とマスコミに報道されてしまいました。

びっくりしたエバンストンのRIは早速デュアーテロータリークラブにその女性の退会を勧告しました。クラブがその勧告に従わなかったため、RIがやむを得ずクラブの除名処分という手段をとりましたところ、当のクラブは「性による差別は州法違反」と争いになり、とうとう裁判沙汰になりました。

判決は二転三転したが、先に見た連邦最高裁判の判決もあってRIは1989年1月シンガポールで開催された規定審議会に於いて、女性の入会を認めたのでした。このようなあらゆる問題を乗り越えて女性に門が開かれたということです。

福島県北分区で平成4年6月に初めて「女性ロータリアン懇親会」が開かれました。福島中央RC6名、二本松RC2名、福島南RC2名、川俣RC1名の以上10名で親睦を深めました。その時のお話では「ロータリーは親睦と奉仕の道」と理解して、ロータリーを知るといいう段階から次に親睦の楽しさを覚えると奉仕の意義が判るようになるとお話があったように覚えています。

以上、女性ロータリアンの入会について厳しい歴史があったことは話されていませんでしたので、これでご報告申し上げます。

### 福島南 RC 夜間例会・新会員歓迎会

例会終了後、親睦活動委員会企画のもと新会員歓迎会がサンパレス福島 5F にて行われました。楽しい企画も盛り沢山で、大盛況となりました。親睦活動委員会の皆様、ありがとうございました。



「乾杯!!」 高橋 勇雄 パスト会長



新会員の皆さんようこそ福島南 RC へ♪



安齋さん、ようこそ☆



宍戸さん、ようこそ☆



鈴木さん、菅野さん、ようこそ☆



河谷さん、ようこそ☆



本日の司会

本田 光男 会員

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字過吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2 号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878  
HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp  
例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町 4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375